

全信協実務試験 合格体験記
— 上級実務試験編 —

一般社団法人全国信用金庫協会

＜学習と息抜きのメリハリを大切に、自分の言葉でポイントを理解＞

- ノート等を活用
- 苦手科目：融資審査・管理・回収

関東地区 A信用金庫 入庫6年目 女性職員

私は入庫後、預金係を4年半経験し、現在は融資係を担当しております。当金庫では、信用金庫の業務に必要な知識を身に付けるため、入庫時より、全信協通信講座の受講が義務付けられているほか、全信協実務試験や銀行業務検定等、各種検定試験についても注力しております。今回私は上級実務試験に合格することができ、学習方法について執筆依頼をいただきました。皆様の参考になるかわかりませんが、私の学習方法について述べさせていただきますと思います。

試験勉強を始めたのは2か月程前の8月中旬頃でした。集中して取り組む日と息抜きをする日とのバランスを保つために、**3時間以上勉強する日を週に3日以上つくる**というルールを決めて取り組みました。そのように休む日がある程度確保し、メリハリをつけることで、最後まで集中力を切らさずに勉強することができたように思います。

主な学習方法として、私は**ノートを作成して勉強**しました。なぜこの学習方法を選んだのかというと、問題をひたすら解くだけでは、ただ問題集の答えを暗記しているだけになってしまうのではないかと思ったからです。また、ノートにして残しておくことで、実際の業務の際に見返して役に立つことがあるのではないかと思います。具体的な方法としては、**各科目のセクション毎に問題と解説を読み、通信講座のテキストも読み返しなが、単語の意味やポイントをノートにまとめ**ていきました。その後問題を解き、**間違えやすい所や、出題頻度の高いところにマークをしたり、コメントを書き足し**たりするなどしていきました。また、既に**銀行業務検定試験**の税務3級、財務3級、法務3級に合格していたので、その時の**問題集等も参考**にしました。

私は現在1年ほど融資係を担当していますが、それまで長い間預金係を担当していたため「**融資審査・管理・回収**」は学習に一番時間を要しました。しかし、今の担当業務に直接関わる科目であるため、日頃の業務の中でも、**分からない単語を上司に聞くなどして理解を深めていく**よう努めました。選択問題の「**税務**」については、今年全信協通信講座を受講していたため、修了試験対策も含め、**通信講座の添削問題の内容を重点的に勉強**しました。

今回私が合格できた要因は、**メリハリをつけて集中力を持続させたことと、ノートを作成することで、自分の言葉でポイントを解説し理解することができたこと**だと思います。また、試験のためだけの勉強でなく、業務のための勉強であることを常に意識するよう心掛けていたため、実際の業務と結びつけて考えることで、より理解を深めることができたのだと思います。以上が私の学習方法です。少しでも皆様の参考になれば幸いです。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2：自分に合った学習方法を見つけましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その3：上級実務試験は、出題範囲が広く、専門用語も多く登場します。各科目の特性・出題傾向を理解し、ポイントを絞って学習しましょう。用語の理解は特に重要です。

＜経験のない分野は単語を理解、問題集の反復とまとめたノートの復習＞

- ノート等を活用
- 苦手科目：企業分析
融資審査・管理・回収

関東地区 B信用金庫 男性職員

私は入庫依頼、経験した業務のほとんどが事務係です。

当金庫では、入庫時の「初級職員講座」に始まり、信用金庫の職員に必要な知識を身につけるために、各種の通信講座の受講が必須となっています。また、全信協の基礎・上級実務試験や銀行業務検定試験の合格が昇格に関わるとされているので、当金庫はこれに力を注いでいます。そのような中で、今回上級実務試験に合格することができ、「私の学習方法」について執筆依頼をいただきましたので、僭越ながら、述べさせていただきます。

今回、私が**勉強を始めたのは、試験から1か月位前から**でした。また、**1日の平均学習時間は1～2時間程度**でした。融資などの実務的な系の経験が全くなかった私にとって、「融資審査・管理・回収」や「企業分析」はとても難しく感じました。これらの科目に関しては**まず、単語を理解することから始めました**。学習計画としては、**1、2週間で一通り問題集を解き、理解できない単語があれば、通信講座の教本などで調べ、理解**を深めました。

また、**問題集の解説で大切だと思う部分に印を付けて**、二週目以降はよりスムーズに学習できるようにしました。問題集を何回か解いていくと、自分がどの部分が苦手なのかが把握できるので、そのようなところに関しては、**ノートにまとめて**、復習しやすいようにしました。**試験直前は問題集と自分でまとめたノートを利用**して、苦手な部分を克服することを心掛けて勉強しました。問題集を解いていくと、毎年似た問題が出ていることなども分かるようになるため、ただ解くのではなく、そのような点にも気をつけて勉強するとよいと感じました。

選択科目に関しては、私は「**税務**」を選択しました。選択した理由は、「税務」が過去に受験したFPの試験や銀行業務検定で学んだ知識を一番活かせる科目だと思ったからです。

私の場合は、必須科目はほぼ予備知識がない状態で勉強を始めたので、問題を解くのに時間が掛かりましたが、「税務」はこれまで学んできた知識を活かされたので、必須科目に比べてスムーズに問題を解くことができました。**選択科目で何を選ぶかで悩む方は、自分が過去に学んだことがある科目を選択**すべきだと思います。もしも、**どの科目も特に学んだことがないという方は自分が最も興味のある科目を選択**するのがよいと思います。当然のことかもしれませんが、自分が興味のあるものの方が、興味のないものより覚えが早いと私は考えています。

今回、私が合格できた要因は、**問題集を何度も解き直したことと苦手な部分をノートにまとめて、復習しやすくしたことの2つ**だと思います。何度も問題集を解いて問題に慣れ、ノートで復習して、より理解を深めていく、という方法が自分にとって一番合う勉強方法だと思っています。勉強方法は人それぞれだとは思いますが、皆様のご参考にしていただければ幸いです。

以上

【本事例から見る ここがポイント!!】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2：自分に合った学習方法を見つけましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その3：上級実務試験は、出題範囲が広く、専門用語も多く登場します。問題集の解説やテキスト等で用語・取扱いを理解しましょう。

＜追い込み型の短期集中、内容を理解したうえでの反復学習＞

- eラーニングを活用
- ノート等を活用
- 苦手科目：企業分析／融資審査・管理・回収

関東地区 C信用金庫 入庫3年目 男性職員

私は1年間預金業務を担当し、現在は融資係をしております。今回の上級実務試験は2度目の受験でしたが、参考になればと考え私の学習方法を述べさせていただきます。

私は試験の**1か月ほど前から勉強を開始**しました。平均勉強時間は**初めの2週間は1時間程度、2週間をきった段階で平日2時間、休日5時間ほどの勉強**をしました。短期集中的な勉強により、なかだるみなく試験日まで取り組みました。始めは用語の意味や解答の理解にとても苦しみました。そこで**最初の2週間で問題集を一通り読み、その上で理解できなかった部分はWEB等を使い意味を調べ内容の理解**に努めました。**用語については別途ノートに書き出しすぐに確認できる状態**にしました。**内容を理解した上で最後の2週間は集中的に問題集を繰り返**しました。

まずは冊子の問題集を繰り返し解き、問題を見てすぐに答えが頭に出てくるまで読み込みました。その後eラーニングのランダム出題を活用し、冊子とは違った出題方法に慣れることで本番に備えました。

「融資審査・管理・回収」については日常業務での経験がある分野でしたが、用語や内容の理解に最も苦勞した分野でした。特に「時効」「不動産担保」「弁済」に関する出題の難易度が高く、**時効となる事由や元本確定の事由などはノートにまとめ整理**をすることで理解を深めました。

「企業分析」では数字が多く取り組む際に最も抵抗を感じた科目でした。しかし**計算問題や比率の問題に関しては反復し確実に覚える**ことで最も得意な分野となりました。

「金融法務」は比較的内容が理解しやすく思いましたが、昨年はこの分野で点が伸びなかった反省点を活かし、油断することなく点数を取れるようにと意識し**繰り返し問題を解**きました。

選択問題は「金融経済常識・マーケティング」を選びました。日ごろの経済情勢に関する関心度が問われることから、**新聞やニュースの確認を普段以上に行**いました。

今回の試験を通じ、**自分が納得するまで反復し学習をすることが大切**であると思いました。**その為には用語や内容の理解を深めた上で徹底的に反復することが重要**であり、掛けた時間分成果になる試験であると感じました。その点で**eラーニングは通勤時間などで効率的に学習**でき、また**冊子とは違う出題方法に慣れる**といった点でも非常に身になる勉強方法となりました。

上級実務試験で学習したことは信用金庫職員として勤めていく中で必要となる知識であり、今回学んだことをこれからの業務に役立てていきたいです。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2：自分に合った学習方法を見つけましょう。ノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その3：上級実務試験は、出題範囲が広く、専門用語も多く登場します。各科目の特性・出題傾向を理解し、ポイントを絞って学習しましょう。用語の理解は特に重要です。
- その4：時間を上手に使い、効率的に学習しましょう。短時間の学習には、eラーニングがおすすめです。

＜育児をしながら時間を捻出、決まりを作って計画的に学習＞

- 育児と学習を両立
- 苦手科目：融資関連

東京地区 D信用金庫 6年目 女性職員

私は入庫後、営業課を3年半経験し、その後は妊娠して内勤になり、産休・育休で1年半程職場を離れていました。2018年4月に復職し、時短制度を利用しながら、現在は本部にて融資業務に携わっています。

今年は必ず合格したいという気持ちで試験に臨みました。復帰してからというもの、業務を日々行なうなかで、自分には特に融資に関する知識が不足していること、現場を長く離れていたことで不安や焦りを感じていることに気がつきました。今回は、今の自信のない自分を変えるよい機会だと思い挑戦しました。

試験勉強は、**試験の3か月前頃に問題集が届いて、すぐに開始**しました。参考書などは特に使用せず、**平日は大体1時間半勉強**しました。私には1歳の子どもがいるので、毎日寝かしつけてから夕食や洗濯、明日の準備を行います。夫の助けを借りても、いつも夜遅くなってしまうため、家では勉強ができないものだと割り切って、**毎日の通勤時間を大事に**していました。しかし、それだけではさすがに足りず、**最後の1か月間は両親にも力を借りて、子どもの面倒を見てもらい、土曜日は5時間程勉強**し、日曜日は家族の時間と決めて頑張りました。

私は今までに2回この試験を受験しています。お恥ずかしい話ですが、問題集を開くのは今回が初めてです。問題を解き始めたばかりの頃は、全然解けず、なかなか頭に入ってきませんでした。

そこで、私は試験勉強をやり切るために**3つ決まりを作って取り組み**ました。まず**1つめは、週ごとに一つ科目を決めてやりこむ**ということです。とにかく狭く深く繰り返し解くことで頭に叩き込みました。**2つめは、出題頻度の高い問題から取り掛かる**ということです。問題集の最初の頁にある**「科目別出題項目一覧」を見るとよく出る項目がわかり**ます。出題頻度が高いということはそれだけ実務においても関わりが多く重要なことだと思います。私は頻度が多い項目から何度も解き、理解してから、他の問題を解くようにしていました。**3つめは、問題全てに何が正しくて間違っているか、自分で説明できるように意識して解く**ことです。

全信協は答えを丸暗記すれば解けるといった簡単な試験ではないと思います。**問題を解いた後、解説をよく読み、意味を理解することが必要**です。ただ解説を流し読みして読んだつもりでいる問題は、いざもう一度解いてみると説明できず、理解していないことが多かったです。また、**どれだけ読んでも頭に入らない問題**もあると思います。そのような場合、私は**上司や先輩方のお力を借りて、分からないままにしないように心掛けました。**

私は試験を終えて、以前の自分から一步前進できたと思います。今は融資業務を中心により理解を深めていきたいと前向きな気持ちになりました。教えて頂いた先輩方に比べてまだまだ知識も経験も足りないので、これからも常に学んでいく気持ちを大切に、どんなことでも自信を持ってお客様に向き合えるよう努めて参りたいと思います。

以 上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：時間を上手に使い、効率的に学習しましょう。短時間の学習には、eラーニングがおすすです。
- その2：事前にしっかりと計画を立てることで、より効率的に学習することができます。
- その3：上級実務試験は、出題範囲が広く、専門用語も多く登場します。各科目の特性・出題傾向をつかみ、問題を解いた後、解説をよく読み、その意味をしっかりと理解するよう心掛けましょう。
- その4：周囲のサポートも大切です。理解できない点は、勇気を出して聞いてみましょう。

＜育児の傍ら、eラーニングですきま時間を活用＞

- 育児と学習を両立
- eラーニングを活用
- 苦手科目：融資関連

東京地区 E信用金庫 入庫16年目 女性職員

私は入庫以来「テラー業務」・「預金業務」・「為替業務」等を担当し、常に事務課に従事してきました。

今回、上級実務検定に合格することができ、学習方法についての執筆依頼をいただきましたので、今回は初めての受験ではないので僥越ではございますが、私の学習法についてご紹介させていただきたいと思います。

当金庫では入庫時の「初級職員講座」に始まり、信用金庫の業務に必要な知識を身につけるべく各種通信教育の受講が励行されています。また、全信協実務試験をはじめ銀行業務検定等の試験にも力を入れており、職員の業務知識向上にむけ自己啓発のしやすい環境にあると思います。

私自身も数種類の通信講座を受講し事務課の業務に必要な知識を身につけてまいりましたが、日常業務との関わりが薄い融資関連の講座はほとんどが未受講のままでした。

前回の挑戦では、試験1か月前から受験の準備をしましたが、馴染みの薄い融資に関する用語に苦戦し万全の状態で試験に臨めませんでした。一通りただ問題集をこなすだけではほとんど理解できていなかったのです。

今回の挑戦では前回の反省点を踏まえ、用語に対する苦手意識を克服するところから始めました。試験2か月くらい前から毎日1時間程度、とにかく反復して問題を解いて解説を熟読し用語に慣れていきました。解説を読んだだけでは理解しづらいと感じたところは、市販の参考書やインターネットの経済用語の解説サイトなどを利用し、あやふやなままにはせず自分の言葉でノートにまとめるなど、自分なりに理解を深めました。

ある程度理解ができるようになったら eラーニングを利用し、ちょっとした「すきま時間」を使いひたすら問題を解き続けました。eラーニングを使うようになったのは試験1か月前くらいからだったと思います。携帯端末での学習はじっくり問題と向き合い、参考書を広げ、ノートにまとめるには不向きですが、食事休憩中の「すきま時間」などを有効に利用するにはすぐに取り出せとても便利でした。特に一問一答の問題は無心に解き進めることができ私にとってはとても有効な学習法でした。10月に入ってからはずっとeラーニングを活用し、特に過去問題のランダム出題に取り組みました。

今回の受験を振り返って思うことは、何よりも「反復学習」等の努力が大事だということです。私自身、家庭に戻ると二人の子供の子育てに追われ、なかなか机に向かう余裕はありませんでしたが、ちょっとした「すきま時間」の積み重ねで合格することができました。まとまった時間を作ることが難しくても、継続して努力することで実るものもあると自信を持つことができました。

今回の上級実務試験で得た知識を活かして日々の業務に役立てるとともに、これからも自己啓発に努めていきたいと思っています。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1 : 自分が集中できる時間を見つけ、時間を決めて取り組みましょう。
- その2 : 上級実務試験は、合格率が10%台の年も多く、初めての受験で合格される方は少数です。2回目以降受験される方は、これまでの反省を生かし、学習方法を考えてみましょう。
- その3 : 自分に合った学習方法を見つけましょう。ノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その4 : 仕事・育児・家事等、学習時間が限られていても、時間をうまく使い、コツコツ取り組みれば結果はついてきます。短時間の学習には、eラーニングがおすすめです。

＜育児の傍ら時間を確保、解説が頭に入るまで繰り返し学習＞

- 育児と学習を両立
- ノート等を活用
- 苦手科目：企業分析／融資審査・管理・回収

関東地区 F 信用金庫 入庫5年目 女性職員

私は結婚を期に一度退職をして、出産・子育てが落ち着いた5年前に、もう一度職員復帰をしました。復帰後1年はテラーを経験し、現在は資産アドバイザーとして預かり資産を中心とした業務でお客様を訪問しています。職員復帰後「いつかは管理職になりたい」という思いがあり、各種通信教育の受講や、検定試験を積極的に受けてきました。そんな中、今年上級実務試験に合格することができ、このような学習法の執筆依頼という大変貴重な経験をさせていただきこととなり、嬉しく思っています。参考になるかわかりませんが、私の学習法を述べさせていただきます。

試験勉強を開始した時期は、8月中旬からです。私は家に帰れば主婦であり、母親でもあります。家事や育児の傍ら毎日の勉強時間を作ることは大変でした。**平日は必ず1時間は学習**すると決め、**夜できない時は翌朝1時間早く起きて学習**しました。夜はすぐ眠たくなるので、比較的朝学習することの方が多かったです。**休日は図書館やマクドナルド等へ行き、家ではなく外で3時間程度時間を作って学習**しました。学習方法は、**問題集を何度も繰り返し解き、解説を熟読**しました。苦手な科目があり「融資審査・管理・回収」と「企業分析」については、解説を読んでも理解がなかなかできず、**ノートに書いて覚え**ました。選択科目は迷わず「金融・財産相談」を選びました。FP2級を取得した時に学習した内容に近い問題だったので、この科目一本に絞り込みました。

約2か月間で、過去4年分の問題集を繰り返し4回やりました。**4回目の時には、問題を解く時点ですでに解説が頭に入っている状態**になっており、本番の上級実務試験の結果も高得点で合格することができました。

試験勉強を振り返ってみると、**早目にスタートした事、毎日少しでもコツコツやり続けた事、何よりも反復学習で知識を身に付けた事が合格への大きなカギ**となったように思います。また、**周りに「合格します！」と宣言したことで、自分を追い込みやる気がアップ**しました。今回の上級実務試験で身に付けた知識を今後の業務に役立てていこうと思います。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：仕事・育児・家事等、学習時間が限られていても、時間をうまく使い、コツコツ取り組むことが重要です。
- その2：問題を解くことで出題傾向が見えてきます。また、解説には、解答の前提となる法令・規定や取扱い等にも触れております。繰り返し熟読することで、基礎的な知識を習得することができます。
- その3：自分に合った学習方法を見つけましょう。ノート作成は、暗記だけでなく、試験直前の見直しにも役立ちます。
- その4：合格するためには、自身の「やる気」が不可欠です。自分を追い込む・周囲の力を借りる等で「やる気」を維持・向上させ、継続的に学習することが重要です。

＜解答の根拠を理解したうえで、eラーニングによる反復学習＞

- eラーニングを活用
- 苦手科目：融資審査・管理・回収
金融法務

北陸地区 G信用金庫 入庫9年目 男性職員

私は、この度、上級実務試験を受験しましたが、その取組方について述べさせていただきたいと思います。

私の場合は**8月下旬から試験対策を始め**ました。

上級実務試験は出題範囲が広く、対策が困難な時事問題等の項目もあります。

私は以前に、あと1問正解していれば合格していたことがあってから、この上級実務試験に苦手意識を感じていました。

今回は過去の試験結果の反省を活かし、特に点数が取れていなかった**「融資審査・管理・回収」と「金融法務」を重点的に勉強**することにしました。

他方で「企業分析」は自信があったので、後回しにしました。

「融資審査・管理・回収」や「金融法務」は、民法や判例、会社法等の法律用語が多いことから、まずは過去問の問題を解くよりも、**解説に載っている文章の意味を理解**できるように心がけました。

数年分の解説を読み進め、解答を覚えるのではなく、その根拠の知識を深めることに重点を置きました。

解説を読んでもどうしても、**わからない場合は通信講座テキストを復習**しました。

また、**選択問題は非効率かもしれませんが、全科目を勉強**しました。何が何でも合格したかったので、試験当日も全科目の問題を解き、手応えが1番ある科目を選択することにしました。

「企業分析」と選択科目は、「融資審査・管理・回収」と「金融法務」の勉強中に、**気分転換を兼ねて解く**ように勉強しました。

そうして、**解説を読みこむのが一巡し、問題を解くときに役立つのが、eラーニング**です。

過去問の問題集では、問題文の下に解答・解説が記載されていることから、すぐ解答を見てしまい、本当に実力がついていないのか確認できませんでした。

ところが、試しにスマホでeラーニングを使ってみたところ、**各科目の問題10問～15問を解くまで解答・解説は出ずに、点数計算も自動的に算出され、記録されます**。さらに次回以降の点数との比較も容易にでき、解答・解説も問題集よりも見やすかったことから、**9月下旬頃からeラーニングでの勉強**に変えました。

今回、無事に合格できましたが、その要因として **eラーニングでの勉強は効率的** だったように感じます。 **反復して問題を解くことに最適** ではないかと思います。

今回身につけた知識に関連することについて、日々意識して関心を持ちつつ、業務に役立てていきます。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：上級実務試験は、合格率が10%台の年も多く、初めての受験で合格される方は少数です。2回目以降受験される方は、これまでの反省を生かし、学習方法を考えてみましょう。
- その2：自分に合った学習方法を見つけましょう。科目ごとにメリハリをつけることで、より効率的に学習できます。
- その3：問題の解説を読んでも分からない箇所は、通信講座テキストを活用し、しっかり理解しましょう。
- その4：問題を解くことで出題傾向が見えてきます。eラーニングの「一問一答」等を活用することで、より効果的に学習することができます。

＜実務経験が少なくても、eラーニングですきま時間を活用した反復学習＞

- eラーニングを活用
- 出題科目全般の知識向上

北陸地区 G信用金庫 入庫2年目 女性職員

私は入庫後、預金係を4か月经験し、現在は渉外係を担当しています。当金庫では、入庫時より全信協や他団体の各種通信講座が受講でき、定期的に各種検定試験の紹介・実施もされているため、自己啓発のしやすい環境にあると思います。

私は、この度、上級実務試験を受験しましたが、その受験対策について述べさせていただきたいと思います。学習計画としては、**試験の1か月前の9月中旬から**取りかかりました。私は、まだ実務経験が少ないため、**特に知識を増やすことに注力**しました。短時間でより多く問題を解くことを意識して勉強するため**「eラーニング」のランダム問題を繰り返し受講**しました。

取り組み始めた当初は、問題に出てくる単語が初めて見るものばかりだったので、その**単語の意味をその都度調べることから始め**ました。ランダム問題の中でも、**間違っているものを1つ選択する問題を優先して解くようにして、残りの正しい選択肢である3つを文章で覚える**ようにしました。正解だけを覚える事ができるので、誤っているものを選ぶ問題も自信をもって回答することができました。

「eラーニング」のよいところは、スマートフォンさえあれば、どこでも勉強ができるということです。私は、毎日決まった時間に机に向かう、というような勉強の仕方が不得意なため、勉強しようと思った時に2、3問ずつでもパッと解くことのできる**「eラーニング」は自分に合った勉強方法**でした。**休日に出掛けた時の移動時間や、毎日の夕飯の前など、30分程度のすきま時間を見つけ、少しずつ問題を解き**ました。また、正答率や、受講日なども確認できるため、**自分の進捗状況を数字で確認できる**という点が、**モチベーションの維持**につながりました。

今回、私が合格できたのは、**何よりも第一に、すきま時間を有効に活用して勉強することができた**、ということが大きな要因であると考えます。これからも、今回の上級実務試験で得た知識を活かして、日々の業務に取り組みたいです。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：自分に合った学習方法を見つけましょう。長時間の学習が苦手な方には、すきま時間を活用したeラーニングの受講がおすすめです。
- その2：上級実務試験は、出題範囲が広く、専門用語も多く登場します。各科目の特性・出題傾向を理解し、ポイントを絞って学習しましょう。用語の理解は特に重要です。
- その3：合格するためには、自身の「やる気」が不可欠です。eラーニングは、学習した科目やその結果が記録されます。よりよい結果を目指して、「やる気」を維持・向上させ継続的に学習することが重要です。

＜学習を早めにスタート、解説の内容を理解したうえでの反復学習＞

- 育児と学習を両立
- eラーニング／ノート等を活用
- 苦手科目：金融経済常識

東海地区 H信用金庫 入庫30年目 女性職員

私は入庫後、融資係、テラー係、預金係、為替係等を経て現在、預金係長を担当しております。当金庫では、入庫時の「初級職員講座」に始まり、職能資格等級に応じた各種の通信講座の紹介幹旋が行われ、信用金庫の業務に必要な知識の修得体制が構築されております。また、全信協実務試験等の合格が単位修得体系にも反映され、自己啓発促進に力を入れております。

私が今回の上級実務試験を受験した際の学習方法について的一端を述べさせていただきます。

私は今までに何回も上級実務試験に挑戦していましたが、育児（小学6年生）との両立の中、勉強時間を上手く作る事ができず、苦戦してきました。過去の経験を踏まえて、**今回は試験の2か月前から、家族の協力を得て、家事を終わらせた後、毎日最低1～2時間勉強**するよう取り組みました。

過去の学習方法は、単純に問題集のみを反復学習していました。顧みると、失敗点は内容を理解しないまま問題と答えを覚えてしまっていたことです。本質的なことを理解していないことに気づきました。今回はとにかく**解答・解説をじっくり納得がいくまで読み、その後問題を解き、分からない用語、理解できない箇所については、受講した通信講座テキストや参考図書で調べて理解を深める**ようにしました。**間違えた問題には付箋を貼り、納得できるまで解説を読み、何度も反復学習**しました。

休日は、子供の習い事に終日同行している事が多く、**空き時間を見つけてはスマートフォンやタブレットを用いた「eラーニング」を活用**しました。少ない時間を有効に活用することができ、大変心強かったです。

かつて私は融資係を担当していたこともあり、「融資審査・管理・回収」については、比較的理解していましたが、その中でも自分が携わった経験が少ない**融資管理等の問題は解説を熟読**し、理解を深めました。「企業分析」並びに「金融法務」は、**間違えた問題を中心に何度も取り組み**ました。特に「金融法務」については、今年の試験結果では一番正解率が低く、悔しい思いをした為、**理解しづらい法律用語はノートに要点をまとめ**てみました。選択科目の「金融経済常識・マーケティング」については、金融経済常識に関する用語に対応することに苦慮しましたが、**日頃から日本経済新聞を読み経済用語に関する情報収集**を心掛けました。

今回、合格することができたのは、**早期に試験勉強を開始し、計画的に学習に取り組むことができた**ことに尽きます。反復学習をする中でただ問題を解くだけでなく、**しっかりと内容を理解した上で問題を解いていくことがやはり重要**だと思います。**すきま時間**を活用し、勉強できたことも合格できた要因です。今回身に付けた勉強法を他の試験にも応用し、自己啓発に励みたいと思います。

以上

【本事例から見る ここがポイント！！】

- その1：上級実務試験は、合格率が10%台の年も多い試験です。2回目以降受験される方は、これまでの反省を生かし、学習方法を考えてみましょう。
- その2：分からない用語、理解できない箇所は、通信講座テキストや参考図書を活用して理解を深めましょう。
- その3：苦手科目はポイントを絞るなど、自分なりに工夫して取り組みましょう。アンダーラインやノート作成は、暗記に役立つだけでなく、試験直前まで見直しができます。
- その4：時間を上手に使い、効率的に学習しましょう。すきま時間の活用には、eラーニングがおすすめです。

＜「できる」時にしっかり集中、類似問題はまとめて学習＞

- 問題集の解説を理解
- 苦手科目：融資審査・管理・回収

近畿地区 I 信用金庫 入庫2年目 女性職員

私は入庫2年目の事務係であり、現在は、主に為替等の後方事務を担当しております。融資業務を経験したことはなく、預金業務のみの経験しかありません。この度、上級実務試験を合格することができた、私の学習方法を述べさせていただきます。

①試験勉強を開始した時期

試験勉強を開始した時期は、約1か月前でした。気持ちに余裕を持って勉強できるようにするためには、ある程度の期間が必要だと考え、1か月間、少しずつ勉強していました。また、学習計画は、考えておらず、**その時の気持ち次第、集中できる時に勉強**を進めていました。集中できない時に勉強しても、理解できていないにもかかわらず、勉強した気になっていることがよくあるからです。

②具体的な学習方法

実際に行った学習方法としては、**まず、問題集を一通り熟読**しました。問題を解くというよりは、**解説を読むことが主**で、参考書を読むような感じでした。その後、問題集に記載されている**「科目別出題項目一覧」を見ながら、類似した問題を比較・熟読し、理解を深め**ていきました。(たとえば、「貸金等根保証契約」は、26年度問4、27年度問3、28年度問4、29年度問5で出題されており、それらを、まとめて勉強することで、貸金等根保証契約についての理解を深めていくというような感じです。)

そして、**最後に、年度ごとに、問題集を一通り熟読することで、覚えた知識を確認**していきました。

科目別にみていきますと、**「融資審査・管理・回収」**は、融資業務の経験が無い私にとって、最も親しみにくい科目でした。**問題を一つ読むだけで眠たくなり、なかなか勉強が進みませんでした。**そのような時は、**この科目を諦め、他の科目を勉強することにし、集中して取り組む**ようにしました。「企業分析」と「金融法務」は、銀行業務検定の財務3級と法務3級を、数か月前に合格していたこともあり、親しみやすい科目でした。

また「企業分析」については、他の科目と比べて、出題範囲が限られており、過去問題をしっかりと理解できていれば、最も点数がとりやすい科目だという印象を持っていました。

選択科目は、「金融・財産相談」を選択しました。これは、既に合格していたFPの問題に類似するものが多くあると感じたからです。

③試験問題を振り返っての感想等

今回、合格することができたのは、**過去問題をしっかりと勉強し、理解を深めていくことができていた**からだと思います。

以上、私の学習方法について述べさせていただきました。私のこれらの勉強は、結果的に、試験の為の勉強になってしまいましたが、これからも継続して様々なことを勉強し、日々の業務に役立てていきたいと思っています。

以 上

【本事例から見る ここがポイント!!】

その1：自分が集中できる時間を見つけ、効率的に学習しましょう。

その2：上級実務試験は、出題範囲が広く、専門用語も多く登場します。各科目の特性・出題傾向を理解し、ポイントを絞って学習しましょう。用語の理解は特に重要です。

その3：問題集の解説には、解答の前提となる法令・規定や取扱い等にも触れております。繰り返し熟読することで、基礎的な知識を習得することができます。